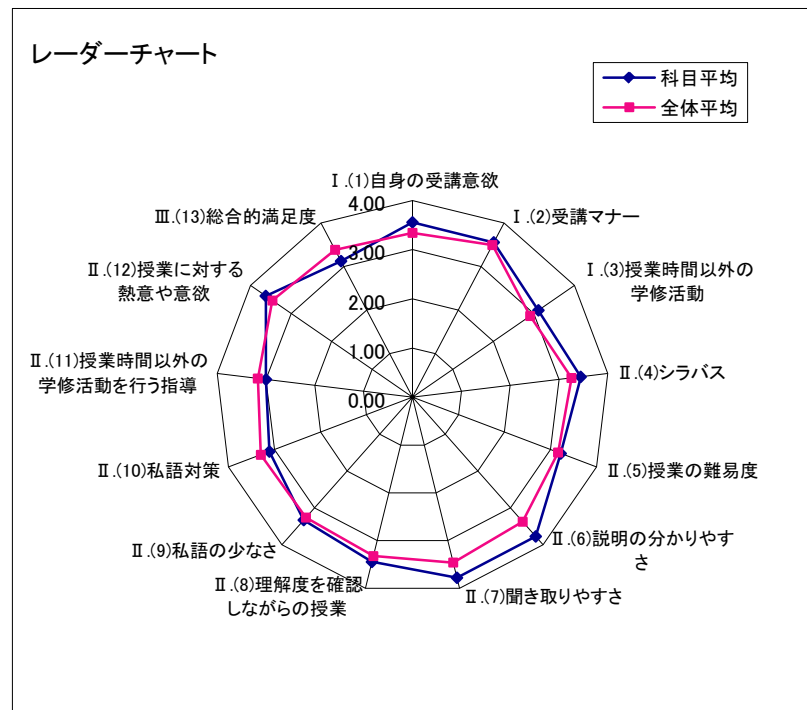
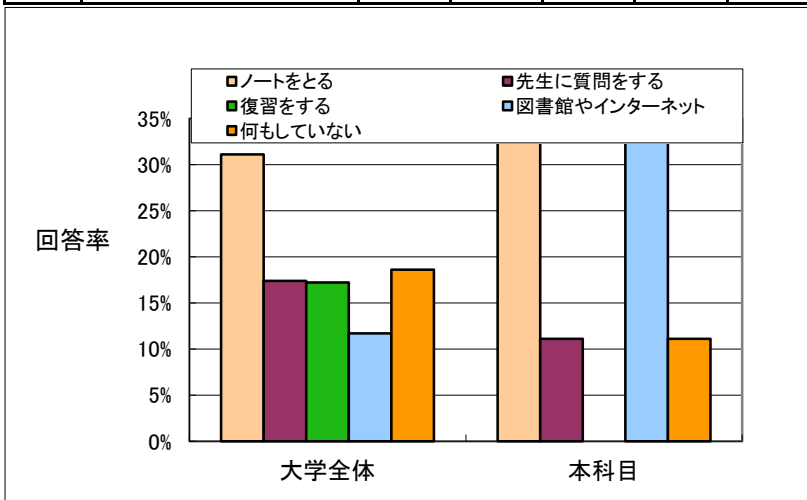


# 講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問をする	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	33.3	11.1	0.0	33.3	11.1



	設問No.	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.56	3.34
	I.(2)	3.56	3.49
	I.(3)	3.11	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.44	3.26
	II.(5)	3.22	3.16
	II.(6)	3.78	3.38
	II.(7)	3.78	3.46
	II.(8)	3.44	3.32
	II.(9)	3.33	3.27
	II.(10)	3.11	3.30
	II.(11)	3.00	3.17
	II.(12)	3.63	3.46
	総合評価	III.(13)	3.13

# アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	5154
科目名	経済学史
教員名	

①授業計画の達成度について  
 シラバスの目的に沿う授業に努めたが計画のすべてが提供された訳ではない。それは適宜内容の取捨が行われたためである。学生の理解度を見て、意欲を引き出す努力をしたことはアンケートの結果に読み取れると考える。分かりやすさは残しながら、計画の全部を達成できるように努力したい。

②授業の進め方について  
 授業の進め方は、聞き取りやすさと分かりやすさで学生の評価が出ている。それは可能な限り1コマ内で完結することを念頭にしていることも影響していると考え、他方で宿題の提出など授業外での学修指導が不足しているのかも知れない。この点を補充することを考えた。授業環境は、本講義の場合学生は教卓の至近距離に集まり、どの学生もすぐに目が合う状態なので、この環境を維持する様に務めたい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 大学全体と比較して、私の授業を受けた学生にはノートを取る、図書館やインターネットで調べるが多い。それに対して、何もしていないは、全体よりも少ない。これをどう評価するかは難しいが、学生の意欲を喚起したと解釈する。パワーポイントを使った形式は維持しつつ、授業参観表で指摘された教科書を使用する方向も模索し、自ら調べる芽を育てる点を生かせるように努力する。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.41	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.42	3.31
総合評価 III.(13)	3.13	3.39